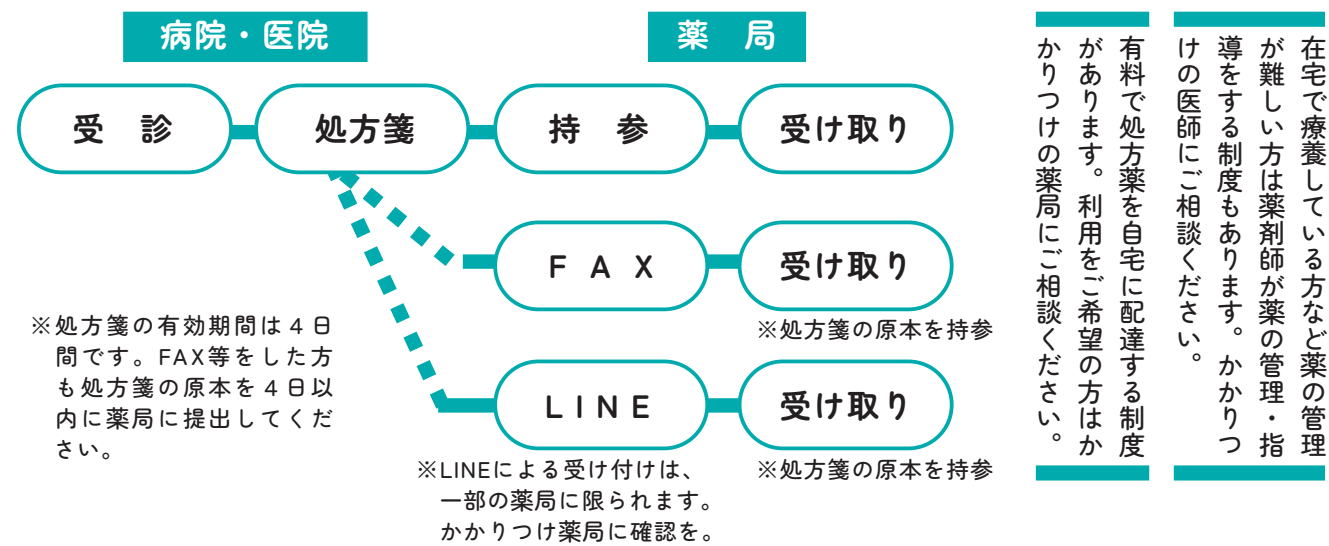


「院外処方」で薬を受け取る手順



ハシドラッグ川俣薬局では、利用者の希望があれば、ハシドラッグ飯館店でも受け取りができるよう、店舗間の輸送も行なっています。午後0時30分までのFAXもしくはLINEの処方箋受け付けで、当日午後4時30分以降、飯館店での受け取りが可能です。受け取りの際に処方箋の原本を持参します。（取り寄せが必要な薬の場合などは受け取り日時の調整が必要です）▶P8もご覧ください。



写真は飯館店

「院外処方」で薬を受け取る際のポイント

医療機関で発行された処方箋は、「保険薬局（または処方せん受付）」の表示がある薬局であれば、全国どこでも受け付けています。病院の近くの薬局でなくても、自宅や職場の近くなど、通いやすい薬局を自由に選ぶことができます。

ただし処方箋には期限があり、発行日を含めて4日間（土日・祝日を含む）が有効期間ですので注意が必要です。また、処方された薬の在庫がその薬局にあるかどうかなどは確認が必要です。

NEXT



関係機関の取り組みについては次ページで！

お薬を正しくもらって正しく飲む（使用する）ために

POINT

- かかりつけの薬局を持ちましょう
- お薬手帳を活用しましょう

いいたてクリニック「院外処方」の経緯

「いいたてクリニック」は、村が施設を整備し、社会医療法人秀公会（福島市）に運営を委ねる公設民営方式で、平成22年に開院しました。開院した時も「院外処方」を行っていて、当時は村内に調剤薬局が2軒ありました。

全村避難で休院となりましたが、避難指示解除を前に住民の長期宿泊が始まった平成28年に診療を再開。しかし薬局は再開が困難だったため、相談・協議を経て「院内処方」を開始しました。そして昨年、ドラッグストアの「ハシドラッグ」が開業したこともあり、国の方針に基づき「院外処方」に戻すこととし、通院患者への周知を進め、年末をもって「院内処方」を終了しました。

現在の外来診療は、火曜日の午前・午後、木曜日の午前で、通院ができない患者さんに対しては本田徹医師が訪問診療を行っています。



Q そもそも「処方薬」「処方箋」とは？

「処方薬（処方箋薬）」とは、医師や歯科医師の診察を受けた上で発行される「処方箋」に基づいて調剤される薬（医療用医薬品）です。一人ひとりの症状や体質に合わせて処方されるため、市販薬よりも効果的で、より強力な作用があります。

「処方箋」とは、病院やクリニックなどの医療機関で医師が診察し、患者の治療に必要な薬の種類、量、服用方法などを記載し、薬剤師に調剤を指示する書類（または電子データ）です。薬局の薬剤師が、処方箋の内容をチェックし、薬を調剤します。

Q どうして「院外処方」（医薬分業）が必要なのでしょう？

「院外処方」（医薬分業）とは、医師や歯科医師が診察後に「処方箋」を発行し、患者が保険薬局で薬を受け取る制度です。医師と薬剤師がそれぞれの専門分野に専念し、薬の量や飲み合わせを二重チェックすることで、過剰な投薬や薬害を未然に防ぎ、医療の安全と質の向上を図ります。平成9年に厚生労働省が、国立病院に完全分業を指示して以降、国の方針として推進されています。複数の病院にかかっている場合でも、同じ薬局を「かかりつけ薬局」として利用することで、薬の飲み合わせや重複を、薬剤師にチェックしてもらいやすくなります。

より安全で適切な医療の提供を目指して
処方薬の疑問にお答えします

「医薬分業」を推進する国の方針に従い、「いいたてクリニック」も今年から「院内処方」を「院外処方」に切り替えました。その経緯と共になぜ「医薬分業」が推進されているのかをお伝えし、村内の関係機関の取り組みなどについてもお知らせします。